


# 北海道教区報

第626号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011（561）1148
FAX011（561）1190
E-mail:tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
https://tenrikyohk.com

## 福FES 2026

### 福祉厚生部

福祉厚生部（岡崎秀人部長）は、10月3日、教務支庁を会場に「福FES2026」を開催、約200名が来場した。

この福FESは、献血や保護司、里親、民生児童委員などの、様々な社会福祉活動を教内だけでなく、地域住民にも広く知ってもらうことや、福祉に携わる人々が互いに励まし合い、連帯感を深める場を提供し、地域全体で福祉活動の啓発を促すことを主目的とし、地域交流を図る催しである。



保護司や里親、民生児童委員の紹介ブースを設置し、飲食ブースやキッズスペースも設けた。

場内では、シャボン玉ショーがあったり、ステージ企画では、福祉活動のトークセッションやクイズラリー、抽選会などのイベントも行われ、活気に満ちた一日となった。

また今年も献血バスを配車し、50名以上の協力をいただいた。

今年も、より多くの方々に社会福祉活動の啓蒙をすることができた福FESとなった。


シャボン玉に大はしゃぎ



キッチンカー




献血バス


バス車内の様子

## 定例にをいがけ　やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、10月16日、11名の教友がグループに分かれて、札幌市中央区の住宅街で、戸別訪問にまわり、布教活動を行った。

時折雨に見舞われ天候が心配されたが、徐々に回復し、実動時間には心地よい秋晴れに。太陽の日差しに、教祖のあたたかな親心を感じながら、なかよし公園付近を約40分、にをいがけに回った。

二人一組で、にをいがけに歩く道中、ある参加者は、訪問宅の敷地に入ると同時に、「教祖どうぞお願いします」と口ずさみインターフォンへ向かう。その純真な姿に、同行した参加者が心打たれる一幕もあった。


戸別訪問



また、布教の家卒寮生である同行者から聞く様々な布教体験を糧とし、自らのにをいがけにその手法を取り入れて、さらなる成人を重ねる方もおられた。

そして、教務支庁へ戻った後の振り返りでは、にをいがけの話しのみならず、自らの身上を通じ感じたことや、日頃なかなか思うようにいかないことに対する苦しい胸の内を素直に話す参加者もいた。

そのような中でも、同じ布教を志す仲間同士があたたかい言葉で励まし合い、さらにはどこまでも親神様、教祖の親心を芯にそれぞれ諭しあって、お互いが大きな勇み心をいただくことができるのも、このやまびこ会の大きな魅力の一つである。

我々の僅かばかりのご恩報じを、教祖はきっと喜んでくださっている…。この日も、小さくとも着実に成人へ向かう一歩となるであろう、有意義な時間となった。

（代表　藤野充普）

## 親子おとまり会　少年会

少年会は、10月3日・4日、教務支庁にて「親子おとまり会」を開催しました。

初日は福祉厚生部主催の「福フェス」後に集合し、オリエンテーション、おつとめ練習を行い、夕食後には、2階大会議室にて「子供縁日」を開催しました。

射的、輪投げ、ジェンガ、魚釣り、空缶たて、バルーンアートなど様々なブースで子供達がチャレンジし、景品のお菓子を手に喜ぶ姿が見られました。

夜には教区におられた先生より「育成に使ってもらいたい」とお心遣いをいただき、みんなで近くの温泉に行かせていただきました。




輪なげ


缶たて


おつとめ練習




ゴミ拾い

最終日の感想では、みんなで一緒にお風呂に行って楽しかったとの声も聞かれました。温かいお心遣い大変ありがたかったです。

2日目の朝食後、教区近くの公園にてゴミ拾いを行い、火バサミを手に率先してゴミを探す子供達の姿が見られました。

2日間を通して、参加してくれた子供達が楽しんでくれた事、大変嬉しく思います。

少年会員16名、育成会員6名、スタッフ11名、合計33名の参加を頂き2日間楽しく過ごすことができました。

（団長　大脇直丸）



# 教会長である前に一ようぼくとして思う事

—倶知安支部長　加藤道典—



陽気ぐらしとは、一体如何なる生活をいうのか。明るく勇んだ心、それが陽気な心である。陽気な心で生活するのが陽気ぐらしである。

おふでさきに

これから八心しいかりいれかへて
よふきづくめの心なるよふ
十四 24

月日にわにんけんはじめかけたのわ
よふきゆさんがみたいゆへから
十四 25

「これから八心しいかりいれかへて」とは、今後の心の入れ替えです。陰気な心を捨て去って了って、陽気づくめの心になるようにせよと、かように仰せになっているのです。

「よふきづくめの心」というのは、明るく勇んだ一点張りの心で、ちょっとも陰気くさいところや、不足の心などの混じっていない心です。そういう心になるようにせよ。と、仰せになっているのです。

その次の25番お歌は「おふでさき」の中で元初まりの親神様の思いを一番はっきりとお現わし下されいるお歌です。

親神が人間を創造したのは、「よふきゆさん」陽気遊山、遊山というのは、お弁当をこしらえて近くの山へピクニックに行くことです。

即ち、陽気ぐらしが見たいから人間をはじめたのである。従って、第六号の元初まりの話の一番初めのあたりに出てきていてもよさそうなお歌ですね。

話の順序としては、当然あの辺に出てこねばならんような気のするお歌でしょう。

それが、だんだんと八分通り人間の心が成人してきて、そうしていよいよこれを言うたら、はっきり心に治まるだろうという時機を待っておられたわけです。

こういうわけで、第十七号まである「おふでさき」が第十四号まで進んできた時になって、突然、その一番肝心な人間世界創造の思いをはっきりと一つの歌にお示しになっているのが、25番のお歌です。




「ゆさん」というのは、山へつつじの花でも見に行こうかというような気分です。そういう明るい勇んだ人間生活を見たいから、人間というものを創造したのです。

ある講義本から抜粋させて頂きました。

又、陽気遊山という言葉があります。遊山とは元来、禅宗の言葉、悠々自適の意味である。小ざかしい人間思案を捨てて、親神様にもたれ、あたかも遊山は手段としてではなく、ただ遊山それ自体が目的であるように、生かされているこの世の生それ自体に意義を感じ喜び楽しむ、それが陽気遊山である。

たんのうの心を治め、ひのきしんにいそしみ、はたらきに徹する生活こそ陽気ぐらしである。

天理教教典に、「陽気ぐらしは、他の人々と共に喜び、共に楽しむところに現れる。皆々心勇めば、どんな理も見え、どんな花もさく。

皆んな勇ましくしてこそ、真の陽気という。めん〳〵楽しんで、後々の者苦しますようでは、ほんとの陽気とは言えん。

（明治三〇・一二・一一）

（中略）

かくて、我も人も共に和し、一手一つの心に、楽しみづくめの陽気ぐらしの世界が守護頂ける。それは、親神の望まれる真の平和世界であり、これぞ、この道の目標である。道の子は、存命のまま導かれる教祖に抱かれ、ひたすら、世界人類の平和と幸福を祈念しつつ、たすけの道に弥進む。」

ある年の秋季大祭で三代真柱様は祭文で、「今の世界に渦巻く欲に切りない泥水を洗い澄ませ頂いて、一列兄弟の和のもとに、互いの真実を結んで、陽気ぐらしの歩みを一歩一歩着実に築かせて頂くことの出来ますよう御守護の程を」と述べられています。

我々ようぼくお互いが朝夕は勿論のこと月次祭のおつとめを通して一日も早く国と国、人と人との争いのない世界になるよう治まりを祈念してはと思う次第です。

# 『全教一斉にをいがけデー』



芦別市



伊達市



北見駅前



大通公園



猿払村



北13条東駅前

## 各地の動き

**●天塩支部**（福井教之支部長）は、9月10日、名寄市のふうれん地域交流センターで、天塩支部「陽気ぐらし講座」を開催。参加者56名。

講師に、濱善剛先生（信道分教会長）をお迎えし開講。

天理教布教部講演部講師、教会長資格検定講習会講師、東愛大教会布教部長の多彩な経歴を生かし「魅力的な人を目指して『陽気ぐらしの第一歩』」と題して講演された。






路傍講演

**9月13日**には、名寄市の道の駅で、「天塩支部にをいがけデー」を名東大教会有志と合同で開催し、18名が参加。路傍講演と道の駅の清掃ひのきしんを行った。

## 新教会長さん紹介

（令和8年9月 お運び）



福井 聖雅 氏
73歳

釧根支部　徳俵分教会（敷島）
奉告祭　10月3日



豊野 孝徳 氏
42歳

室蘭支部　南夷分教会（豊岡）
奉告祭　11月8日


新井田 直嗣 氏
42歳

余市支部　積丹分教会（敷島）
奉告祭　10月18日

## 行事あんない

**●基礎講座**
11月1日　13時30分～　小樽会場
11月29日　13時30分～　教務支庁会場

**●やまびこ会**
11月16日　13時30分～　教務支庁集合

## 北海道教務支庁日誌抄

10月1日　青年会Meets!
2日　支部長会議
　主事会議
3日　福祉部 福フェス
　少年会 親子おとまり会
4日　札幌中南支部例会
10日　会計部会議
16日　やまびこ会
18日　しらゆき会例会
21日　教区長帰本
25日　教区長会議
26日　本部秋季大祭遥拝式
27日　第100回天理教青年会総会
28日　教区長帰庁
31日　たすけ推進会議

## 訃報

**立教一八九年・令和8年**

元室蘭支部長
**・豊島 日出美様**　9月9日出直（77歳）
虻田分教会長　（室蘭支部）

**・赤羽 チイ子様**　9月29日出直（89歳）
養樹分教会前会長　（札幌東支部）

**・内田 忠彦様**　10月4日出直（90歳）
大樺分教会前会長　（十勝支部）

**・和田 晴美様**　10月8日出直（80歳）
茂尻矢分教会長　（釧根支部）